

全財務局 管内経済情勢報告

	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回との基調比較	全局総括判断の要点
全局総括	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある中、企業の人手不足感は続いている。
財務局名	前回（7年10月判断）	今回（8年1月判断）	前回との基調比較	各財務局の総括判断の要点
北海道	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、弱含んでいる。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。観光は、緩やかに拡大しつつある。
東 北	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、一部に弱さがみられるものの、持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあり、輸送機械が回復しつつあることなどから、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率がこのところ低下しており、新規求人数が前年を下回っているものの、企業の人手不足感が引き続き高い状況にあることなどから、緩やかに持ち直している。
関 東	持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、食料品を中心に物価上昇の影響が目立つものの、持ち直している。生産活動は、生産用機械、化学などが増加するなか、一進一退の状況にある。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、改善しつつある。
北 陸	緩やかに持ち直している	持ち直している	➡	個人消費は、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。生産活動は、化学が回復しているほか、電子部品・デバイスが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
東 海	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、持ち直している。生産活動は、自動車関連を中心に緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しているが、企業の人手不足感は続いている。
近畿	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、国内消費が堅調に推移しており、緩やかに回復しつつある。生産活動は、電気・情報通信機械などが上昇しているものの、汎用・業務用機械や生産用機械などが低下しており、一進一退の状況にある。雇用情勢は、有効求人倍率がおむね横ばいで推移するなか、完全失業率は低水準で推移しており、緩やかに持ち直している。
中 国	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、電気機械などが減少しているものの、化学などが増加しており、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にあるなか、緩やかに改善しつつある。
四 国	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡	個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、スーパーやコンビニエンスストアが堅調となっていることから、全体としては緩やかに持ち直している。生産活動は、輸送機械が持ち直しつつあるものの、食料品が横ばいの状況にあるほか、電気機械が弱含んでいることから、全体としては弱含んでいる。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
九 州	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	回復しつつある	➡	個人消費は、回復しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられており、横ばいの状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
福岡	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	➡	個人消費は、回復のテンポが緩やかになっている。生産活動は、はん用・生産用機械の生産活動に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。
沖縄	回復している	緩やかに拡大しつつある	➡	個人消費は、緩やかに拡大しつつある。観光は、拡大しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

(注) 8年1月判断は、前回7年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断。
下線部が基調判断。